

# 出前館バイク配達員キーポイント

～1週間の副業で時給2,000円を超えるために～

---

## <第二章>

### 【目次】

【目次】	1
2 即配達ポイント	2
2-1 地名を把握する	3
2-2 地域別にレベル分けをする	5
2-3 忙しい時間帯を把握する	8
2-4 繁忙時間に応じた、オファーの取るレベル地域を把握する	9
2-5 道路を把握する	10
2-6 配達の基本はナビのルート案内は使わない	12
2-7 加盟店の場所を覚える	14
2-8 スマホの画面は常に付けっ放し	15

※クリックでページに飛ぶことができます。

# One Week Program

## 2 即配達ポイント

それでは実際に、この章では1週間のプログラムを始める前に「配達のポイント」を解説させていただきます。

この「配達ポイント」を会得するために、1週間かけてプログラムを行うことをご留意いただきながらご覧くださると効率よく読み進める事ができます。

つまりこの「ポイント・コツ」を全て行うことができるようになれば、時給2,000円を達成できるようになるという事です。

そして、この「コツ」は全て”件数”に注力しております。  
つまり、どれだけ早く件数を多くこなせるかがより多く、効率よく稼ぐコツと言うことでございます。



# One Week Program

## 2-1 地名を把握する

出前館ではオーダーを実際に受ける前の「オファー状態」だとお届け先は、**大まかな地名で確認**ができます。

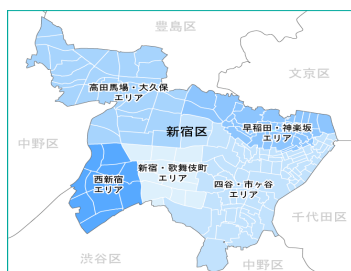
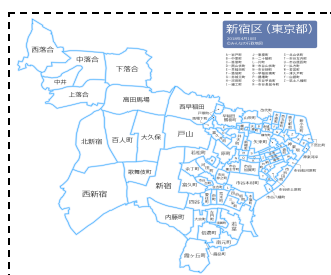
例えば、「新宿区新宿」や「港区南青山7丁目」「さいたま市大宮区大成町」と言った具合です。

そしてこの地名を見てすぐにその場所がどこだか把握し、オファーが来ている注文の中から同時に受けられるオーダーをいかに多く取れるかが時給アップの鍵になります。

よって必然的に、**隣接する地名を継続的に覚えること**が効率的に件数を稼ぐ一歩になります。

例えば「新宿区新宿」に隣接する地名は西新宿、歌舞伎町、大久保、戸山、若松町、余丁町、富久町、四谷、内藤町、千駄ヶ谷の10個の町です。

出前館アプリに通知されたオーダーオファーの中に「若松町」と「新宿区新宿」があれば、その2つを同時に受けることができるということです。



しかしここでのポイントになるのは、ただ**片っ端から地名を覚えていけばいい**ということではないということです。

なぜならオーダーが全く来ない地域もあるため、注文がよく来る地域から優先してオファーを取っていかなければならないからです。

そのためもし商品をピック(受け取る)する場所と、お届けする住所が隣接する地域のオーダーを受けられたとしても、ほとんどオーダーが来ない地域の注文を受けてしまった場合、次のオーダーに繋がらず、逆に時間ロスになってしまうのです。

だからそのエリア内で注文がよく来る地域をまずは把握する必要があります。  
例えば「さいたま市のエリア」の場合、最も注文が多いのは「さいたま市大宮区錦町」になります。

理由は埼玉県で一番栄えている大宮駅があるためです。  
栄えているので、必然的に注文する人が多くなり、その付近のお店からオーダーが多くなっているのです。



# One Week Program

←この赤い中心部が一番注文が入ります。  
外側の黄色の円になって行くにつれて  
オーダーが減ります。

多くのエリアではこの「栄えている駅」がある町で注文が多くなります。  
ただこれは例外もあるため、ご自身のエリアで実際に自分で確かめるのが1番の最適解となります。

また拠点内に駅が複数あるエリアでは「中心駅」(エリア内の駅の中で最も注文が入る駅)も各エリアごとに変わってくるので、注文がよく入る地域を把握するためには実際に稼働してみて、オーダーのデータを集める必要があります。

ただ、最初の稼働では全く分からないと思われるので、そのエリアで一番栄えている町、栄えている駅などを中心駅として設定して稼働してみてください。

そして実際に稼働をしてから徐々にデータを集め、そのデータに基づき中心駅を変更していくことで、経験を得ながら更なる時給の効率アップが見込めるようになるのです。

地名の効率的な覚え方とオーダーがよく来る地域の確かめ方は後ほどご紹介させていただきます。



# One Week Program

## 2-2 地域別にレベル分けをする

配達の効率化を図るためにオーダーがよく来る地域ごとにレベル分け  
→[ **最重要地域**、**重要地域**、**普通な地域**、**遠い地域**、**要注意な地域** ]をします。

例えば、こんな感じです。(ここにありませんが普通な地域からも地域分けをします。)

<b>最重要地域</b>	大宮区錦町、宮町、大門町、仲町
<b>重要地域</b>	大宮区桜木町、大成町、土手町、下町

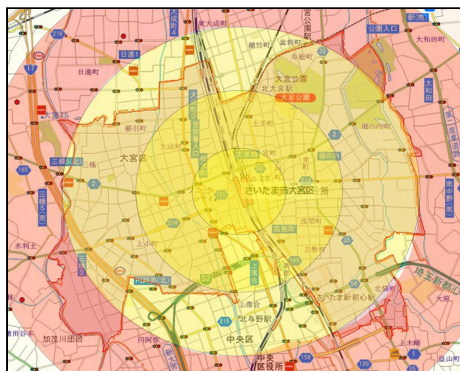
地域を分ける理由は2つあります。  
まず1つは、1-1 でお話ししたオーダーが良く入る地域を把握することで、同時に受けられるオーダーを増やすためです。

このレベル分けをした地域別に、オファーが入ったオーダーを今の時間帯に取るべきなのか判断することで、より多くのオーダーを受けるための効率を上げられるのです。

もう1つの理由は**絶対に取ってはいけない地域**を把握するためです。  
絶対に取ってはいけない地域とは...  
その地域まで行ってしまったら、注文がすぐに取りれない地域のことでございます。

出前館が設定しているエリアの範囲は広く、そして距離によるボーナスなどもないのでオーダーが入りづらい距離が離れている地域に行ってもデメリットしかないのです。

よくあるミスとして...  
オファーが来た瞬間に、ピック(商品受け取り)の場所だけを見て「これはいい注文だと思い」お届け先をよく見ずにオーダーを取ってしまった後、お届け先がエリアの一番端だと言うことに後で気が付くことになってしまい、効率がいいオーダーだと思って取ったはずなのに、結果的に時間をロスしてしまったと言う事例です。



左の地図で言うと「赤色の範囲」のエリアが  
取ってはいけない地域と言うことになります。

出前館のシステム上、基本的にピックする場所は「今のいる場所から近いお店」のオファーが入っているため、注文を取る前に必ず見るべきポイントはお届け先の住所ということになります。

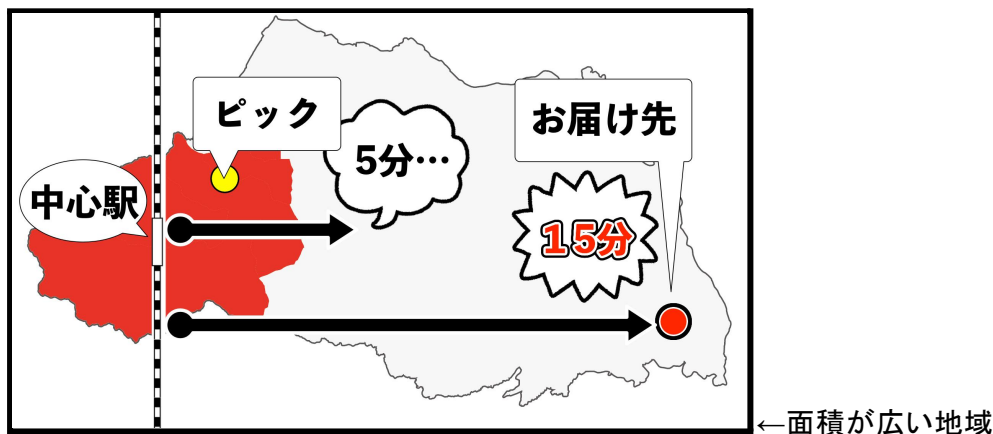
# One Week Program

絶対にとってはいけない地域を判断する一つの目安が、よく注文が来る「エリア中心駅」まで15分以上かかってしまう地域です。

また出前館のアプリでオファー時(配達する前の選択の注文)では、お届け先は「大まかな地名まで」しか確認することができず、詳細な場所は表示されない仕様になっております。

そして地域の面積が広い町だと、中心駅から5分しかかからない場所もありますが、15分かかる遠い場所もあります。

そのため、地域の近い場所しか地理を把握してない場合、5分で届けられると思ってオファーを取ったと思っていたのに、15分以上もかかってしまい、次の配達にまで影響が出てしまうという最悪な循環になってしまう可能性が出てしまうのです。



よって、地域のレベル分けをする際には**その地域の一番遠い地域**で時間計算をしていくことが重要になります。

そしてこの「配達にかかる時間」は距離やナビで出た時間だけで把握することは出来ないということも見逃してはいけません。

**信号の有無や赤信号の長さ、道路の混み具合**でも変わってくるからです。だから単純に距離だけで時間を測ることはできず、実際に走ってみることが一番正確に把握することができるのです。

# One Week Program

しかしながら初心者の人であれば参考は欲しいと思い、距離である程度の時間目安を私加減になりますがここに載せておきます。配達に慣れるまでは目安程度に参考にしてくださいませ。

## <距離における時間目安>

1.5km	5分以内
2.5km	10分以内
4.5km	15分以内

※ちなみに参考として、カーナビで使われている時間の速さは25km/hで1.5kmの距離をおよそ3分半で到達できるような設定になっております。

※この表は信号待ちや踏切なども考慮したものになっております。



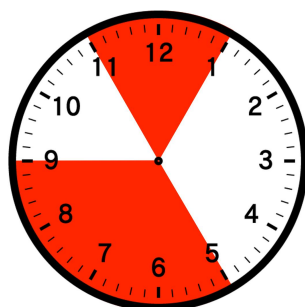
# One Week Program

## 2-3 忙しい時間帯を把握する

バイク配達員と言えども、フードのデリバリーなので当然みんながご飯を食べる時間や食べない時間に伴って仕事が忙しい時間帯と暇な時間帯に分かれます。

地域ごとに細かな時間帯は分かれますが、

大体は昼間帯の11時～13時、  
夜間帯の17時～21時頃  
の2つの繁忙時間に分かれます。



これらの時間を参考にさらに

- ①忙しい
- ②普通
- ③暇

の3つの段階に分けます。

例えば

①忙しい	12~13、18~21
②普通	11~12、13~15、17~18
③暇	15~17

このように分けます。

この時間を設定する理由は、オファーを取る範囲を時間帯別に分けて決めるためです。  
忙しい時間帯はスルーするオファーでも暇な時間はそのオファーを取るということです。  
そうしなければ自分の配達するオーダーがストップしてしまう可能性が出てきてしまうのです。

1番の効率を求めるのであれば、ずっと最重要の近い地域だけのオファーを取り続けることができれば最高効率が達成されるのですが、それは現実的ではありません。

自分の求める地域のオーダーが来ない時もあるからです。  
だからオーダーが少ない暇な時間帯は、時に遠い地域もとっていかないと結果的に時給が下がってしまうということです。

つまり時給アップのコツは何よりも注文を絶やさないようにすることなのです。

またポイントとして、この忙しい時間帯もその地域ごとに違うため、実際に稼働してみて把握確認することが大切です。



# One Week Program

## 2-4 繁忙時間に応じた、オファーの取るレベル地域を把握する

忙しい時はオーダーがたくさんくるので、わざわざ遠くの地域に行ってしまったら効率が下がってしまいます。

同じく、暇な時に近くの地域のオーダーが来るまで待っていたらいつまで経っても、配達ができなくなります。

なのでその忙しさ(オーダー数)に応じた地域を適切に選択していくことが最高効率になります。

簡単に言えば、2-2で作ったレベル地域と、2-3で作った繁忙時間帯を合体させると言うことです。

地域レベル	地域名	繁忙レベル	時間
最重要地域	大宮区錦町、宮町、大門町、仲町	①忙しい	12~13、18~21
重要地域	大宮区桜木町、大成町、土手町、下町	〃	〃
普通地域	大宮区上小町、高鼻町、東町など...	②普通	11~12、13~15、17~18

と言った具合に作成していきます。

この表を見れば時間帯ごとに、オファーを取っていい地域が一目瞭然になると言うことです。

そしてこの表を頭の中で全て覚えてしまうことができれば、瞬時にその日の忙しさに合わせた地域設定ができるようになり、効率はさらに上がります。

なぜなら出前館が地域別に注文するお客様用にキャンペーンを開催することがあるので、そのキャンペーン内容や、時期などによっても忙しさが異なるため、その日のオーダーのオファー次第でレベル地域を変更できるようになることが、一番の最高率を導き出せるということだからです。

そして地名も、この表の最上部の最重要地域から順に覚えていくことが重要であり、覚えやすくなるのです。

# One Week Program

## 2-5 道路を把握する

ある地域からある地域まで地図を使わずに、地名だけ見てその場所に行けるようにします。  
例えば「新宿区新宿から千代田区九段」と言われた瞬間に行けるようにするのです。



瞬時にこのルートが頭に浮かぶようにするのです。

しかしナビがあるしそれでいいんじゃないか？という疑問を持つ方もいるでしょう。  
そうです。道路を把握した方が良い理由は、ナビを使うと効率が落ちるためなのです。  
この理由については次項で詳しく解説しておりますので、そちらを参考してください。

さらには地図さえも使わないでその地域に行く事が出来れば、地図を開く時間やルートを考える時間も短縮ができより効率が上がるためです。

# One Week Program

地図を使うのは**お客様の細かなお届け先ご住所を確認する時だけ**になります。  
そのためオファーオーダーを取ったら、まずは何も見ずにピックアップ先のお店に行って商品を受け取り、お客様の地域の方へ歩を進めつつ、その間のバイクの停車時間に地図で住所の確認をするのが最も効率良く配達ができる訳なのです。

この道路把握は二段階のレベルに分けて達成していきます。

<b>Lv1</b>	この道路を使えば、この地域に行けると言う地域ごとの接続する道を把握する。 まずは自分がわかる範囲の道で良い。大体は大きい道路になるはずだが、細かな道がわかるならその方が良い。
<b>Lv2</b>	渋滞を回避するための細かい裏道を把握する。 ある地域とある地域を繋ぐワープホールのような道を見つける。(一方通行の道がその道になりうる可能性が高い)その為には色々な細かい道を実際に使ってみる必要がある。

※道を覚えるためのポイントとして  
自信がなかったり、全く道路がわからない場合は基本的には大きい道路から覚えていくのがポイントです。

この道路はどこにつながるのか。どの地域に行けるのかを意識しながら道を使うことです。



基本はこのナビが出したルートをまずは覚えます。



# One Week Program

## 2-6 配達の基本はナビのルート案内は使わない

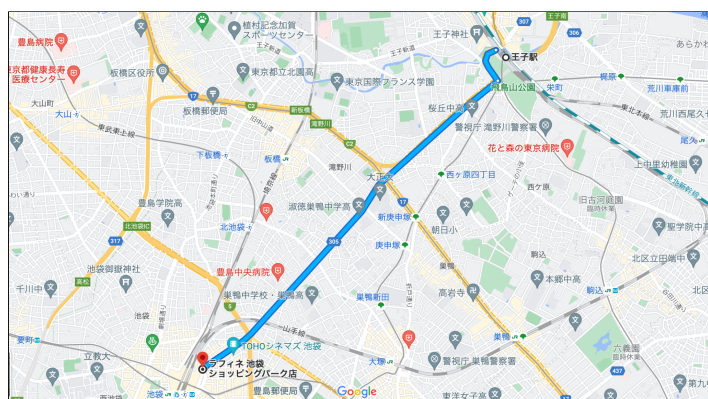
地図アプリのナビルート案内は使わず、地図のみを見て配達をします。  
この場所にはどうやって行くか、どの道を使ってどこを曲がるのか。  
そうやって自分で配達するルートを決めます。

理由は上項でも説明した通り、ナビを使うと効率が落ちるためです。  
その要因は3つあります。

①まず1つとして、ナビのルート案内通りに進むと  
大回りになったり、渋滞にハマりやすくなるからです。

ナビは基本的に分かりやすく進むためのルートを選ぶので、そのルートは最短でない事がほとんどです。

またアプリのAIにより渋滞回避として、大通りを避けるルートを選んでくれるのですが、そのルートもまたナビを使う人により、逆に渋滞していたりするのです。  
その為、ナビも使わない裏道を覚えることが即配の一步となるのです。



←池袋から王子駅に向かうルート  
この道は大通りでとても混んでいる。

②そして2つ目は  
ナビを使う手間の時間が勿体無いからです。

出前館アプリからグーグルマップを開き、ナビのルート検索をして、そのルート通りに進む...  
この全ての工程が時間の無駄になってしまいます。

一回一回の配達全てでこれをやってしまうと、全体的な配達の効率が下がってしまうのは一目瞭然なはずですが。

# One Week Program

③最後に道路を覚えられなくなるからです。

ナビのルート案内に頼った配達だと自分でルートの確認や、その道の目じるしなどを見落としてしまいがちになります。

さらにナビルートは毎回同じようなルートしか使わないので、どうしても色々な道を覚え辛く、その先の応用が効かなくなってしまいます。

なので道路を覚えるためにも、毎回道路の目標となる建物やお店、交差点の名前や看板などを確認して覚えていくように配達をしてください。



また袋小路になった住宅街に配達する時は同じような建物が多く、目じるしとなるお店や看板などもないため、大きめの通りより配達のルートを知るのが難しくなります。

そんな複雑な配達ルートを、ナビを使わず覚えるためのポイントとして、**言葉で覚える**のをオススメします。

例えば、2つ目の交差点を右折したあと、3つ目の曲がり角を左に曲がった、左手2軒目の建物に配達の場合...

「交差2右、3左、左2軒」

として、曲がるまでの交差点の数や横道のことを言葉で発しながら走るとスムーズに配達ができるはずです。

そして自分が今いる位置から配達先まで、少し遠回りになったとしても、あまり曲がらないルートを選んだ方が結果的に早く配達ができます。

複雑に曲がるルートを選択してしまうと、曲がる場所を間違えたり迷ったりするからです。

そう言った裏道を完璧に覚えている場合以外は、なるべくシンプルなルートを選択します。

※注意点として、どうしても道が分からない場合はナビのルート案内を使っても問題ないですが、基本は地図だけを見て配達をするように心掛けるのが効率アップのコツです。

# One Week Program

## 2-7 加盟店の場所を覚える

商品を取りに行くお店には**ナビや地図を見なくても**、どの地域からでも行けるようにします。お店によっては入口が多数あることがありますが、どんな入口からでも入れるように場所や道を覚えるのです。

例えば、大きなショッピングモールでは入口が北側と東側、そして南側の3ヶ所あったりします。そのオーダーが入った時の状況によってはあなたがショッピングモールの北の方に居るかもしれないし、はたまた南西の方にいるかもしれません。

あなたが今いる位置からそのショッピングモールに入るまでの最短を知っておく必要があると言う事です。



覚え方のポイントとしては注文者側の出前館サイトやアプリを使って、実際にどんなお店があるのか確認をするのです。

そしてそのお店の位置を調べて、余裕があれば実際に行ってみるのが良いでしょう。

また配達側の出前館のアプリはオーダーオファーが入ったとしても、それを選択しない限り、お仕事は発生しません。

なのでまずは試しでアプリを起動してログインをしてみて、どんなお店からオーダーが来るのか、お客様の配達先はどこら辺が来るのかを確認してみるのも有効です。

また忙しい時間帯やたくさん注文が入ってる時は、オファー状態のオーダーがアプリ上にたくさん溜まっていくので、その溜まった状態のアプリ画面をスクリーンショットで写真に残しておく、そのスクショを見て「どんなお店が加盟店になっているのか」「そのお店の位置」や「忙しい時間帯」「お客様の地域名」なども把握できるのでお勧めします。

実際の稼働中にも余裕があれば、スクショを撮る癖をつけていきましょう。

# One Week Program

## 2-8 スマホの画面は常に付けっ放し

出前館のオーダーは早い者勝ちというシステムが取られております。  
そのため稼働中の基本は常に、出前館アプリをチェックして、良い注文(近い住所のお届けオーダー)がこないか確認をしておく事が効率アップのコツになります。



←このオファーオーダーの状態は  
他の人に取られてしまうと消えてしまい、  
オーダーが取れなくなってしまいます。

この画面を常に維持し続けて稼働をします。→



その為にスマホの画面は常に付けておいて、オファーが来た瞬間に、住所を確認し良い注文だった場合はそのオーダーを取る動作を「早押し」と言います。

この早押しをする際には、スマホのロックを解除してアプリ画面を立ち上げる時間さえも勿体ないため、スマホの画面を常に付けておく必要があるのです。

しかし、当然のことながらバイク運転中にスマホ画面は見れません。  
これは【道路交通法 第71条】に定められている違法行為で、違反した場合は重い罰則が課されます。

【道路交通法第71条（運転者の遵守事項）第5の5（条文）】

自動車又は原動機付自転車（以下この号において「自動車等」という。）を運転する場合においては、当該自動車等が停止しているときを除き、携帯電話用装置、自動車電話用装置その他の無線通話装置（その全部又は一部を手で保持しなければ送信及び受信のいずれをも行うことができないものに限る。第120条第1項第11号において「無線通話装置」という。）を通话（傷病者の救護又は公共の安全の維持のため当該自動車等の走行中に緊急やむを得ずに行うものを除く。第120条第1項第11号において同じ。）のために使用し、又は当該自動車等に取り付けられ若しくは持ち込まれた画像表示用装置（道路運送車両法第41条第16号若しくは第17号又は第44条第11号に規定する装置であるものを除く。第120条第1項第11号において同じ。）に表示された画像を注視しないこと。

ただし、この禁止行為は運転中に違反になるもので「停車中」つまりは信号待ちなどの車が完全に止まっている時は適応外になるのです。



# One Week Program

さらにはそれぞれの地域ではラジオやイヤホン等の使用で音が聞こえない状態で運転はしてはいけない決まりとなっています。

これも逆に言えば、ハンズフリーなど周囲の音が聞こえている状態では違反にならないので、片耳のイヤホンで音楽が大音量で流れている状態でなければ、罰則が課されるようなことはないのです。

よって、運転中でもワイヤレスの片耳イヤホンなどをして通知音を逃さないようにすることは可能になります。

つまり配達の運転中にイヤホンからオフオーダーの通知が来たら、速やかにバイクを停車させて、直ちにその内容を確認するのが配達効率を上げることになります。

そしてその他の停車中（料理を取りに行ったり、お客様宅にお届け中や信号待ちの停車）には常にオフオーダーに気を付けながら、次の配達先住所のルート確認をします。

ここでの注意点としては、やはりスマホ注視による条例違反です。運転中スマホを手を持ち、スマホの画面に2秒以上（明確には決まっていない）注視したら取り締まり対象となることを必ず頭の中に留めておいてください。

また停車中だとしても車両が少しでも動いていたら条例違反になり、罰則が課されることも忘れてはいけません。信号待ちは常に反対信号を気にしておく必要があることをご留意くださいませ。

さらにスマホなどの取り締まりは、その取り締まりを行った警察官の裁量での判断になるので、パトカーや警察官がいたらスマホを見ない方が確実に安全と言えます。

ちなみにこの違反におけるペナルティは18,000円の罰金と3点減点です。この違反だけで数日分の稼ぎがなくなってしまうので、十分に注意しましょう。